

令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート [山形市民会館]

施設概要			
施設名(所在地)	山形市民会館 (山形市香澄町二丁目9番45号)		
施設目的	本市における芸術文化の拠点としてさまざまな文化事業を実施し、本市の芸術文化振興に寄与するため、市民により身近で利用しやすい施設として、市民や文化団体による自主的な活動を支援することを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	山形市民会館管理運営共同事業体(選定方法:公募)		
指定期間	平成27年4月1日～令和7年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 会館の事業に関すること 2 会館の建物又は付属設備若しくは備付けの物品の維持管理に関すること 3 条例に規定する使用の許可・不許可・許可の取り消し等に関すること 4 条例に規定する入館の制限に関すること 5 規則で定めるところにより、開館時間・休館日等に関すること 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	企画調整部文化創造都市課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いは適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	S
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
利用件数		利用件数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	S
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

成果のあった主な取り組み

- ・担当職員の経験年数等を考慮し、企画・管理・舞台技術などの外部研修に参加しており、スキルアップ、サービス向上に役立っている。
- ・第1・3月曜日の休館日は、1か月前までの申込に対しては開館して対応している。令和2年度は、合計4日間・約623人の利用実績があった。
- ・自主事業である声優朗読劇「フォアレーゼン～最上騒動記～」では、人気声優が地元の歴史を題材とした作品を朗読する質の高い公演を実施することにより、若い世代に地域の歴史に関心を持ってもらう機会を作ることができた。
- ・児童劇団の公演では、団員を午前との出演者と午後との出演者に分け、食事はせず、ステージ上でも距離をとり安全対策を取り入れて活動を継続することができた。
- ・空調は、これまで省エネのため内気循環が主軸であったが、感染症対策のため外気を多く入れて換気を重視する運転方法へ転換した。そのために排風装置及びダンパーの修理改修などを行った。
- ・感染症対策として、利用者に対する丁寧な説明、サーマルカメラ導入、共有部水道蛇口の交換、足踏み式やセンサー式のアアルコール噴霧器の導入などを行った。
- ・事務費の消耗品費は、定期的な在庫管理・計画的な購入により支出削減を図った。
- ・事務費の通信運搬費は、許可証をまとめて送付するなど発送の工夫で経費節減を図った。

主な課題や今後の対応

- ・新型コロナウイルス感染症対策の実施・事業の変更についての広報は、世代により有効な広報媒体が異なるため、必要な方に情報が届くように、事業ごとに主な利用者を想定した適切な広報が必要である。
- ・新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しているが、今後従来的人数に回復してきた場合、同じ一日の中で利用者が入れ替わる際の消毒などの対応を、従来職員の数で対応できるのか、職員の負担を考慮しながらその対応を検討する必要がある。
- ・終演時間が香澄駐車場の営業終了時間に近い公演は、柔軟な対応ができるよう調整が必要である。
- ・その時期に応じた感染症対策を講じた上で、事業を実施するため、動線の設定など、劇場・ホールにとつての「新しい生活様式」の検討を進める。
- ・利用者が使用できるインターネット環境のニーズが増えているが、現状では、大ホールホワイエのみで、小ホール・会議室には電波が届かないため、利用者のニーズに合う施設整備の検討が必要である。
- ・煙感知器が経年劣化しており、誤作動による発報が起きやすい状況のため、順次交換が必要である。
- ・稼働率と比例して水道光熱費が増加するが、空調機の技術的な改善を試行しながら、支出削減を図る。

評価コメント

令和4年度は、年度を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため、事業計画の変更や関係するガイドラインに沿った感染症対策が必要になるなど、臨機応変な対応が必要であった。また、貸館の利用も例年よりも低い状況で、利用者・利用料金ともに大きく減少した状況が続いている。

そのような中、感染症対策に係る最新の県・市の動向、各業界団体のガイドラインに沿った対応を行い、必要な対策を行っており、多くの人が一堂に集まるホール施設の特性を踏まえ、感染症対策を速やかに確実に実施していることは評価できる。

事業関係では、貸館が減少している時期だからこそできる長期間の練習を伴う市出身のプロの演出家と公募による出演者が作り上げた公演で、多くの入場者数を獲得するとともに、満足度も高かった点が評価できる。また、当初予定していない事業にも積極的に取り組み、結果として参加者の好評を得たワークショップを開催したことなど、多様な市民のニーズを踏まえた高い企画力が評価できる。今後とも、利用者のニーズを掘り起こし、時代に合った文化芸術活動及び文化芸術活動の場を市民に提供する新たな試みを模索してほしい。

広報面では、ウェブサイトでの丁寧な周知を継続したほか、SNSの「Twitter」「Facebook」の活用をさらに推進し、「Twitter」においては、1,000人を超えるフォロワーを獲得している。日常的な情報発信を積極的に行うだけでなく、関係団体や主催団体との協力的な関係をウェブ上でも有効に活用している。

各種事業の企画・実施にあたっては、市民会館は山形市の文化創造の中心地であるという自覚を持ち、時代の流れを先取りしたような事業、多様な市民のニーズを捉えた質の高い事業、地域と協力した事業、加えて、従前から文化芸術活動に携わる方のみならず、より多くの市民にとって、文化芸術活動を通じ、人と人がつながる場、山形市の多様な文化交流の場を提供する事業を期待したい。

また、施設の管理運営に関しては、新しい市民会館の整備計画もあることから、現在の施設の利用を想定している期間は、利用を継続できるよう、設備を含め、期間を意識して必要な修繕を実施してほしい。また、公的施設として公平な運営、適切な対応を遵守するとともに、非常時における対応については、継続して訓練を実施し、使用する市民の安全確保に留意してほしい。